

## 開発のための教育『はたらく力の分析』

- 目的** ある目標に対して現在働いているプラスの力とマイナスの力を分析し、目標に向かってどのような行動を起こすことからはじめればよいのかを具体的に知る。
- 用意するもの** グループごとに模造紙数枚、サインペン 2～3色
- 人数** 4～6人ほどのグループで(ただし状況に応じて何人でも可)

### 活動の進め方

- 1 将来において変革していきたい目標をたてる。このとき目標は抽象的なものでよい。(例：地球環境を守る、やさしい心をもつ、など)
- 2 目標を紙の一番上に書き、そこから下に一本線を引く。
- 3 その目標に対して、\*現在の時点で存在するプラスの力、マイナスの力を話し合いながら書き込む。その際、力の大きさに応じて線の長さを変える。(右図参照)
- \* こうしたいという希望等ではなく、現実にある力のみを書き込む。
- 4 思いつくすべての力が書き込めたら、今度はその中で、自分たちの身近な力、自分たち

- で取り組めそうな力(プラスでもマイナスでも可)を選ぶ。
- 5 選んだ力をさらに強める(プラスの力の場合)または弱める(マイナスの力の場合)ことを目標として新しい紙に書き込み、2から4までの作業を繰り返す。
- 6 以上の作業を2回3回と繰り返すうちに、目標やそれに対して働く力はより具体的、身近なものになってくる。ある程度のところまできたら、その中から自分たちがどのように行動をはじめていったらよいかを話し合い、行動に移してみる。



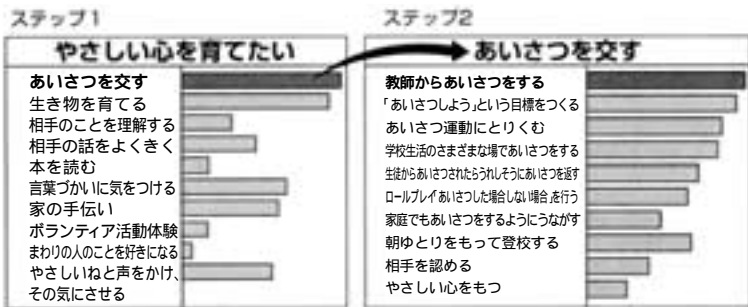
### パリエーション

プラス・マイナスの力の分析という方法の他に、その目標に向かって自分たちが「できそうなこと」と「できそうな度合い」を書き込むかたちで同様に行ってもよい。この場合、「できそうな度合い」がもっとも大きかったものを新たな目標にする。

できそうなこと	その度合い
再生紙を使う	短い棒
節電する	短い棒
ごみの量をへらす	短い棒
環境問題について知る	長い棒
文化祭で展示をする	長い棒
政府の人に訴える	長い棒
フライパンの油はふく	長い棒

### やってみました このアクティビティ

7月30日にT・NET通信の読者の先生方を対象に行った「開発のための教育」ワークショップで、この「はたらく力の分析」を行いました。目標としたテーマは「やさしい心を育てたい」。下図は、あるグループが行った結果です。(これはパリエーションの方法で行いました。)



### 他のグループから出た「自分たちにできそうなこと」

- |               |                        |
|---------------|------------------------|
| ステップ1         | ステップ2                  |
| ・すぐれた芸術に触れる   | 心を育てる演劇                |
| ・相手の気持ちを考える   | 人の話をきく訓練を行う            |
| ・よい面をできるだけ認める | 生徒をよく知るために家庭連絡帳をよく見ておく |

### その他、活動中に出てきた意見

- ・教師からあいさつをする
- ・ユニセフ活動をする
- ・地域清掃を行う
- ・福祉施設を訪問する